

## 評価規準の作成の手引き（三省堂版「国語総合」による）

### 一 国語総合の目標（「高等学校学習指導要領」による）

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

### 二 国語科の評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりし、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校）－評価規準，評価方法等の研究開発（報告）－」（国立教育政策研究所HP内 <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/kou-sankousiryou/html/mokujij.htm> 参照）

三 言語活動例一覧表（「高等学校学習指導要領」による）

話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題を選んで、スピーチや説明などを行うこと。</li> <li>・情報を収集し活用して、報告や発表などを行うこと。</li> <li>・課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと。</li> <li>・相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書くこと。</li> <li>・本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に表れたものの見方や考え方などを読み取り、それらについて話し合うこと。</li> <li>・考えを広げるため、様々な古典や現代の文章を読み比べること。</li> <li>・課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表すること。</li> </ul>

四 評価方法一覧表

評価の観点	評価方法
<p>1</p> <p>関心・意欲・態度</p>	<p>A 観察記録（生徒の反応、発言、発表、話し合いへの参加などの様子を観察し記録する。）</p> <p>B 自己評価（アンケート・評価用紙などに記入させることにより把握する。）</p> <p>C ポートフォリオ評価（ノート、プリント、作品類の提出状況を單元ごとにふりかえり把握する。）</p> <p>D 教師からの発問評価（授業時に生徒の意欲を喚起する言葉を投げかけ、その反応を把握する。）</p> <p>A 観察記録（授業中の生徒の話し方、話し合い中の発言、口頭発表の態度を観察し、記録する。）</p>

2	話す・聞く能力	B 自己評価（アンケート・評価用紙などに記入させることによって把握する。） C 相互評価（評価用紙などに記入させることによって把握する。） D 作成資料の提出（スピーチ、説明、ダイバートのために作成したメモや発表原稿によって把握する。）
3	書く能力	A 観察記録（授業中のノートやプリントの記述態度を観察し、記録する。） B 自己評価（アンケートなどに記入させることによって把握する。） C 相互評価（評価用紙などに記入させることによって把握する。） D 提出課題の調査（レポートや課題文、手紙文、通知文、紹介文などを点検すること、書く能力を把握する。） E 定期考査（記述テストで成果を見る。）
4	読む能力	A 観察記録（授業中の音読や朗読の様子、発問に対する受け答えの様子を観察し記録する。） B 自己評価（アンケート・評価用紙などに記入させることによって把握する。） C 相互評価（評価用紙などに記入させることによって把握する。） D 提出課題の状況（提出された課題について、読解の状況を把握する。） E 定期考査（テストで読解の能力を見る。）
5	知識・理解	A 観察記録（授業中の生徒の活動を観察する。） B 提出課題の調査（提出された課題について、文法、表記、語句、語彙、漢字等についての理解度を把握する。） C 定期考査（テストで言語にかかわる知識を見る。）

\*ポートフォリオ評価は、ポートフォリオと呼ばれるファイルに、生徒の提出物等を学習の進歩に応じて集積・保存する評価方法である。総合的・継続的に関心・意欲・態度を評価することができる。

五 評価規準例（高等学校 国語総合）

\*評価規準例使用上の注意点\*

- ・評価の方法は、配当時間あたり3項目程度を目安に示してあります。
- ・評価の観点と方法については、四の評価方法一覧を参照にして下さい。

- ・「十分満足できると判断されるもの」(A)、「おおむね満足できると判断されるもの」(B)、「努力を要すると判断されるもの」(C)の三つの評価段階(小中学校の指導要録における観点別学習状況の記入方法による)のうち、ここでは、上段に示した観点に照らして使用できる(B)段階の規準を、予想される学習進度順に示してあります。
- ・評価規準を示す上で、「～できる。」という文末表現は避け、「～している」としてあります。すなわち、「～」の内容を生徒がおおむね満足に実行していると確認できたならば、その生徒が(B)段階の評価規準の内容に到達したものと考えるからです。また、一部の規準が、「～しようとしている。」となっていていますが、「関心・意欲・態度」に関わる評価規準についてこのような文末表現を採用しました。「関心・意欲・態度」の観点に関しては、その評価規準に示した内容を正しく実行できているか否かにかかわらず、取り組み姿勢が見えたならば、その評価規準に達したものと考えたからです。
- ・(A)段階の評価規準例については省略しましたが、(B)段階の規準に達した上で、さらに質的な高まりや深まりを持っていると判断された時に、「十分満足できる」と評価できることとなります。
- ・【関連事項】は、その単元と相互に連携できるような、他の教科や総合的な学習の時間、特別活動等がある場合に記してあります。
- ・「言語活動例」については、三の一覧表を参考にしてください。
- ・ここに示した例は、あくまでも一つの目安であり、実際の授業時には、各学校の実情に即応した評価規準の設定が必要です。

単元名(○内時数)	評価の観点と方法	評価規準
祝福のことば ②	1 : A B D 3 : A 4 : A B D E 5 : B C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで筆者の考え方を確かめている。</li> <li>・筆者が幼い頃経験した「おはよう」と「こんにちは」の区別について、文脈に即して整理している。</li> <li>・「おはよう」が、「祝福」であると言ったエマニュエル・レヴオナスの考え方を理解している。</li> <li>・「人が人にかかわること」の大切さを、自分の体験に基づいて説明している。</li> </ul> ・文章を読んで構成を確かめている。

<p style="text-align: center;">情報流</p> <p style="text-align: center;">②</p>	<p style="text-align: center;">少女</p> <p style="text-align: center;">②</p>	<p style="text-align: center;">羅生門</p> <p style="text-align: center;">④</p>	<p style="text-align: center;">水の東西</p> <p style="text-align: center;">②</p>
<p style="text-align: center;">1 : : A B 3 : : A D 4 : : A D E 5 : : B C</p>	<p style="text-align: center;">1 : : A 3 : : D 4 : : A D E 5 : : A</p>	<p style="text-align: center;">1 : : A B C 2 : : A 3 : : D 4 : : A B C E 5 : : A B C</p>	<p style="text-align: center;">1 : : A C 3 : : D 4 : : A B D E 5 : : C</p>
<p>◎ 情報科での学習内容</p> <p>【関連事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サッカー観戦」の話題が、本論の導入の役割を果たしていることに気付いている。</li> <li>・筆者の言う「近代主義の大前提」について把握している。</li> <li>・近代的個人の自由や責任において大切なことを、本文に即して理解している。</li> <li>・論理構成を整理した上で、「情報学」の果たすべき役割を説明しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を読んで、その構成を確かめている。</li> <li>・作品を読んで、表現の意図や特色をとらえようとしている。</li> <li>・作品に描かれている情景を、登場人物の言動に照らし合わせてとらえている。</li> <li>・最後の一文に込められた少女の心情を的確に理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味を、一般的な意味にとどまらず、文脈に忠じて的確にとらえている。</li> <li>・音読や朗読などを取り入れながら、読み味わっている。</li> <li>・登場人物の行動や性格、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。</li> <li>・下人の心理の推移と、闇の空間の意味についてとらえている。</li> <li>・作品を読んで考えたことを、互いに読み、批評し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈を考え、対句表現や語句に注意したりしながら、書き手の主張や文章の内容をとらえている。</li> <li>・筆者の東西文化を比較する観点を理解している。</li> <li>・日本文化に対する考え方を整理している。</li> <li>・文章の要旨を必要に応じて要点を絞ってまとめている。</li> </ul>

<p>レモン哀歌 およぐひと・猫 ・骨 ・崖 ②</p>	<p>地球の有限性と 人間 ③</p>	<p>命はだれのもの なのか ③</p>
<p>1 : A 2 : A 3 : D 4 : A D E 5 : C</p>	<p>1 : D 3 : D 4 : A C D E 5 : A B C</p>	<p>1 : A B 2 : A 4 : A C D E 5 : A C</p>
<p>・表現されていることばからイメージをとらえようとしている。 ・ことばの表現上の効果や修辞技法を理解している。 ・それぞれの詩のリズム・ことばの響き・内容に注意して読もうとしている。 ・詩の感想をわかりやすく表現している。</p>	<p>◎ 公民科の授業における環境問題に関する学習内容</p> <p>【関連事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を叙述に即して最後まで的確に読み取ろうとしている。</li> <li>・筆者が指摘する地球環境問題を、自分の知識に即して理解している。</li> <li>・地球環境問題に関する悲観論の危険性とはどのようなものかととらえている。</li> <li>・先進国と開発途上国、現在の人々と将来の人々の関係について筆者はどのように考えているのかを理解し、地球環境問題の解決について自分の考えを持っている。</li> </ul>	<p>◎ 総合的な学習の時間での生命に関する学習内容</p> <p>【関連事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が取り上げている二つの安楽死事件について、自分の意見を述べている。</li> <li>・筆者が死を望んだ経緯と、その時に得た認識について理解している。</li> <li>・「安楽死法」の問題点を整理した上で把握している。</li> <li>・「命はだれのものなのか」ということについて、筆者の考えを理解した上で、自分の考えを述べている。</li> </ul>

<p>ネットが崩す私の鏡</p>	<p>ものことば ②</p>	<p>いくたびも ②</p>	<p>その子二十 ②</p>	<p>富嶽百景 ④</p>
<p>1 : A 2 : A B</p>	<p>1 : A 3 : A D 4 : A D E 5 : B C</p>	<p>1 : A C 2 : A A 3 : D 4 : A E 5 : C</p>	<p>1 : A C 2 : A 3 : D 4 : A E 5 : C</p>	<p>1 : A D 2 : A C 4 : A C D E 5 : A B C</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の言おうとするところをとらえ、共感したり、疑問に思ったりしている。</li> <li>・高度情報化社会の問題点と利点について、自分なりの考えを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈を考え、「ことば」に関する具体例を通して、筆者の考えをとらえている。</li> <li>・本文の要旨を五つの部分ごとにまとめている。</li> <li>・「ものことば」の関係に対する筆者の考えを、本文全体を通して、自分の言葉で説明しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季語と切れ字について理解しその効果について把握している、俳句の感想をわかりやすく表現している。</li> <li>・それぞれを整理して説明している。</li> <li>・図書館やWebサイトなどで、作品や作者に関する資料を幅広く集め、自分の考えを効果的に発表しようとしている。</li> <li>・それぞれの俳句について、表現されている情景や感動の中心を整理して説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの短歌の調べに注意して読もうとしている。</li> <li>・短歌の感想をわかりやすく表現している。</li> <li>・図書館やWebサイトなどで、作品や作者に関する資料を幅広く集め、自分の考えを効果的に発表しようとしている。</li> <li>・それぞれの短歌について、歌われている情景や感動の中心を整理して説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味を、一般的な意味にとどまらず、文脈に忠じて的確にとらえている。</li> <li>・作品に描かれている「富士」の描写について、整理している。</li> <li>・登場人物の行動や性格、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。</li> <li>・作品を読んだ印象を、互いに批評し合っている。</li> </ul>

<p>余暇について ③</p>	<p>紫紺染について ③</p>	<p>待ち伏せ ③</p>	<p>③</p>
<p>1 : A D 3 : D 4 : A D E 5 : A B C</p>	<p>1 : D 2 : A 4 : A C D E 5 : A B</p>	<p>1 : A D 2 : A D 3 : A 4 : A D E 5 : A B C</p>	<p>4 : A B D E 5 : A B C</p>
<p>・文章の構造、論理の展開を把握している。 ・筆者の主張を、論理的に理解している。 ・必要に応じて、筆者の考えを要約している。 ・余暇に対する従来の考え方と筆者の考え方との違いを、把握している。</p>	<p>・文章に用いられている文体や表現技法等の特徴をとらえている。 ・語句の表現上の効果についてとらえている。 ・場面に即して、山男の行動・態度と山男に対する人々の反応をまとめている。 ・この作品のおもしろさについて意見を出し合い、互いに批評し合っている。</p>	<p>・「私」は「いつ」の時点で、「だれ」に対して語っているのかを、物語の時制や場面に注意して読みとっている。 ・「私」が手榴弾を投げてしまった理由を、本文の記述に即して整理している。 ・「私」が部屋の中からときどき「朝霧の中からその若者が現れるのを見ることがある」という心理状態を把握している。 ・「私」が戦争の話を書き続けている理由を、自分の言葉でまとめ説明している。</p>	<p>持っている。 ・電子メディアの登場によって起こった変化について、簡潔にまとめている。 ・インターネットが普及したことで、私たちの「公私の境」がどう変わったかについて、自分の考えを述べようとしている。 【関連事項】 ◎ 情報科での学習内容</p>

古典編

<p>古文入門 田舎の児、桜 の散るを見て 泣くこと 後の千金のこ</p>	<p>古典の響き ①</p>	<p>1 : A B C D 4 : A B C D E 5 : A B C</p>	<p>2 : A D 5 : A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古文を読んで、表現の特色をとらえようとしている。</li> <li>・ 歴史的仮名遣いを理解している。</li> <li>・ 文を単語に分けることができる。</li> <li>・ 動詞の活用について理解している。</li> <li>・ 古文を読み、その表現に即して読み味わったりして、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとしている。</li> </ul> <p>◎ 【関連事項】 中学での既習事項</p>	<p>見る—考える ③</p>	<p>1 : A 3 : D 4 : A B D E 5 : A B C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の構造、論理の展開を把握している。</li> <li>・ 筆者の主張を、論理的に理解している。</li> <li>・ 筆者の考えを要約したものが、的確かどうか確認している。</li> <li>・ 「見る」ことと「考える」ことの違いを、本文に即して整理している。</li> <li>・ 最後の一文の意味するところを、文章の要点を押さえながら説明している。</li> </ul> <p>◎ 【関連事項】 総合学習の時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆者が主張しているような余暇を手にいれるためには、何をしたらよいと筆者が言っているかを、自分の言葉で整理して説明しようとしている。</li> </ul>
---	--------------------	--	--------------------------	--	---------------------	--	--	---

	<p style="text-align: center;">土佐日記</p> <p style="text-align: center;">③</p>	<p style="text-align: center;">伊勢物語</p> <p style="text-align: center;">③</p>	<p style="text-align: center;">徒然草</p> <p style="text-align: center;">④</p>	<p style="text-align: center;">と 大江山</p> <p style="text-align: center;">④</p>
<p>1 : A 5 : A 4 : A 3 : A 2 : A 1 : A</p>	<p>5 : A 4 : B 3 : C 2 : A 1 : A</p>	<p>5 : B 4 : A 3 : C 2 : D 1 : E</p>	<p>5 : A 4 : B 3 : C 2 : D 1 : E</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語法について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記文の特徴について理解している。</li> <li>・歌人紀貫之について理解を深めている。</li> <li>・筆者が、この日記を女性の立場で書いた理由を理解している。</li> <li>・ことば遊び的な要素を理解している。</li> <li>・和歌に関する知識を踏まえた上で、そこに込められた信条を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和漢混交文の特徴について理解している。</li> <li>・物語の大意を把握している。</li> <li>・物語や日記の歴史について理解している。</li> <li>・文中の和歌を解釈している。</li> <li>・助詞の用法について理解している。</li> <li>・「芥川」を読んで、感じたことを相手の言うことを理解しながら話し合っている。</li> <li>・「東下り」を読んで、東国へ下った男の気持ちの移り変わりを整理してまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語辞典を使いながら本文の読解をしようとしている。</li> <li>・「公世の二位のせうとに」の話のおもしろさを理解している。</li> <li>・「ある者、子を法師になして」の話を通して筆者の言おうとしていることを、簡潔にまとめている。</li> <li>・「名を聞くより」の本文に書かれていることと同じような経験を、筋道を立てて話している。</li> <li>・「花は盛りに」を読んで作者の美意識を読みとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞・形容動詞・助動詞の用法について理解している。</li> </ul>

漢文に親しむ	奥の細道 ③	和歌二十首 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 ③	平家物語 ③
1 : A B C D	1 : A 2 : A 3 : A 4 : A B D E 5 : B C	1 : A 2 : A C 4 : A D E 5 : A B C	2 : A 3 : A 4 : A D E 5 : A B C
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文を読んで、表現の特色をとらえようとしている。</li> <li>・朗読する際に、速度、声量、抑揚、間の取り方などを工夫し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈を考えながら、本文の内容を理解している。</li> <li>・「旅立ち」について、対句的な表現をとらえている。</li> <li>・「那須野」について、作者と旅の途中で出会った人々との交流を整理している。</li> <li>・「平泉」について、作者が涙を落とした理由について理解している。</li> <li>・「立石寺」について、「閑かさや」の句に詠まれている情景を本文に即して説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌のリズムに注意して朗読しようとしている。</li> <li>・和歌の表現の特色や時代による変化を理解している。</li> <li>・それぞれの作品に描かれている情景・心情を理解している。</li> <li>・「万葉集」「古今集」「新古今集」の作品の特徴をとらえている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「祇園精舎」について、文章の調子を生かすように朗読している。</li> <li>・「能登殿最期」について、登場人物の心理を場面に応じて理解している。</li> <li>・平家物語に見られる死生観について理解を深めようとしている。</li> </ul> <p>◎【関連事項】 日本史での学習内容</p>

<p>復活 搜神記</p> <p>③</p>	<p>鶏鳴狗盗 史記</p> <p>③</p>	<p>漢詩八首 唐詩選 三体詩 白氏文集</p> <p>⑤</p>	<p>五十歩百歩 借狐虎 蛇足</p> <p>⑤</p>
<p>1 : A C 2 : A C 4 : A D E 5 : A B C</p>	<p>1 : A C 2 : A 4 : A D E 5 : A B C</p>	<p>1 : A B D 2 : A C 4 : A B C D E 5 : A B C</p>	<p>2 : A 3 : A D 4 : A B D E 5 : A</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の内容を、段落ごとにまとめている。</li> <li>・「男」が女を後夫に返さない理由について、本文に即して説明できる。</li> <li>・助動詞の用法について理解を深めている。</li> <li>・王導がどのような結論を出したかを把握している。</li> </ul>	<p>◎【関連事項】 世界史での学習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読に必要な返り点、送り仮名、句読点などに関するきまりを理解している。</li> <li>・作品中に出てくる句形について理解を深め、その訓読の仕方や訳し方について正しく理解している。</li> <li>・漢和辞典を使いながら本文の読解をしようとしている。</li> <li>・作品に描かれている情景を、登場人物に照らし合わせて理解している。</li> <li>・中国の古典について、その思想や時代状況について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のきまりについて理解している。</li> <li>・訓読を通して内容を理解できる。</li> <li>・それぞれの詩に表現されている情景や心情について、整理している。</li> <li>・好きな詩を選んで、暗唱しようとしている。</li> </ul>	<p>◎【関連事項】 中学での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自力で書き下し文を書いている。</li> <li>・故事成語の内容を叙述に即して理解している。</li> </ul>

<p>論語・孟子 ④</p>	<p>1 : A 2 : A D 3 : A D 4 : A B D E 5 : B C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古代中国の思想について理解している。</li> <li>・ 孔子・孟子の考え方について、自分の考えを持ち述べている。</li> <li>・ 白文に訓点を適切に付している。</li> <li>・ 印象に残った章を選び、自分の感想をまとめている。</li> </ul>
<p>雑説 唐宋八大家文 読本 ③</p>	<p>1 : A C D 2 : A 3 : A 4 : A D E 5 : C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この小説の面白さを相手にわかりやすく説明している。</li> <li>・ 漢文の内容をまとまりごとに要約している。</li> <li>・ 脚注や漢和辞典を用いて、正しい口語訳を行っている。</li> <li>・ 「伯樂」と「千里馬」がそれぞれ何のたとえとして用いられているか理解している。</li> <li>・ 筆者がこの文章で訴えたいことを、論理的に組み立てて相手に伝えている。</li> <li>・ 論の展開を読み取り筆者の論理を把握している。</li> </ul>

七 参考文献（評価規準例を作るに際して、以下の資料を参考にしました。）

- ・ 「文部省告示 高等学校学習指導要領」 大蔵省印刷局 平成11年3月
- ・ 「高等学校学習指導要領解説 国語編」 東洋館出版社 平成11年12月
- ・ 教育課程審議会答申 平成12年12月
- ・ 文部科学省初等中等教育長通知 平成13年4月
- ・ 「評価規準，評価方法等の研究開発」 国立教育政策研究所教育課程センター  
次のアドレスでも見られます。  
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/kou-sankousiryou/html/index.htm>
- ・ 「月刊国語教育 指導を高める評価改善の決め手」 東京法令出版 平成14年5月別冊
- ・ 「日本語学 特集 国語科教育における評価」 明治書院 平成14年6月
- ・ 「実践 国語教育 評価で国語の授業を改善する」 明治図書出版 平成14年6/7月号

・「月刊国語教育 特集 観点別評価から評定へ」 東京法令出版 平成15年2月号  
 ・「指導と評価」 3月号 (社) 日本図書文化協会 平成15年3月号

高等学校国語総合表現編

教材(学習活動)	スピーチ「わたしのこと」を話そう ショウ・ア ンド・テル	5	5	5	5
配当時間	活動のねらい	活動の大まかな流れ	評価の観点と方法	評価規準	こんな人に、こんな本をブック
5	・自分の体験や考えを客観的に把握する。 ・自分のことを具体的にわかりやすく話すための姿勢(工夫・スキル)を学習する。 ・他の人のスピーチを聞き、それに対する意見をきちんと持つ。	① ショウ・ア ンド・テルの方法を学ぶ。 ② 教科書のモデルを参考に、自分のスピーチ内容と見せる物とを考える。 ③ スピーチ原稿を書く。 ④ スピーチをし、自己評価する。また、他の人のスピーチをきちんと聞いて評価・アドバイスをする。	1: A D 2: A B C D 3: A B C D 4: A B C D 5: A B	・活動に主体的に参加しようとし、話し合いでは、他の人の意見を聞き、また発言しようとしている。 ・自分を見つめ、自分の体験や考えを客観的に把握している。 ・スピーチの内容が、自分の体験に基づいたもので、自分についての何らかの発見が含まれている。 ・自分の伝えたいことを整理し、わかりやすく語っている。 ・適切な態度で話し、聞いている。 ・他の人の意見を聞き、発表に反映させている。	・読書に対する興味・関心を喚起する。
1: A D 2: A B C D 3: A B C D 4: A B C D 5: A B	① 自分自身の読書生活を振り返り、他の	1: A D 2: A B C D 3: A B C D 4: A B C D 5: A B	・紹介する本についての情報を収集し、整理している。		① 自分自身の読書生活を振り返り、他の

<p>新聞に投書してみよう 意見文を書く</p>	<p>討論ゲームをしよう デイベート</p>	<p>ガイドを作ろう</p>
<p>7</p>	<p>4</p>	
<p>・意見文を書く基本を学習する。 話し合いや相互批評</p>	<p>・デイベートを応用した討論ゲームを通して、討論に参加する際の基本的な姿勢を学習する。</p>	<p>・情報の取材・整理をし、紹介文にまとめる。 ・表現活動や相互評価を通して、自らのものとならえ方を自覚する。</p>
<p>①新聞の投書欄を三日分読み、関心をもった投書の内容とそ</p>	<p>①教科書のモデルを参考にして、討論ゲーム（の進め方）2：A B C Dを理解する。 ②テーマについて、自分の立場を決め、理由・根拠を考える。また、自分と異なる立場の理由・根拠を考える。 ③役割分担を決め、討論ゲームを実施する。 ④試合を振り返る。</p>	<p>人に薦めたい一冊を選ぶ。 ② 選んだ本に関する情報を取材・整理し、カードにまとめる。 ③ カードにまとめていく際、積極的に相互評価を行う。 ④ 仕上がったカードを集約し、ブックガイドを作り上げる。</p>
<p>1：A B C D 2：A B C D 3：A B C D</p>	<p>1：A D 3：A B C D （感想文の提出） 4：A 5：A</p>	<p>提出） 2：A B C D 3：A B C D （ブックカードの提出） 4：B 5：A B</p>
<p>・新聞の投書を主体的に読み、感想をまとめようとしている。 ・話し合いに積極的に参加しようとする</p>	<p>・活動に主体的に参加しようとしている。 ・討論に参加する際の基本的な姿勢について理解している。 ・自分の意見を整理して述べている。 ・議論の流れを正確にとらえている。 ・適切な態度で話し、聞いている。 ・テーマについて、肯定・否定両方の立場で考えようとしている。</p>	<p>・意見交換する際に、積極的に参加し、他の人の意見を聞きまた発言している。 ・選んだ本のよさを伝えようとしている。 ・他の人を読む気にさせる紹介文を書いている。</p>

道順を説明して みよう事柄を正 確に伝える	手紙を書いてみ よう手紙の形式	
4	4	
・事柄をことばで伝え ることの大切さを自覚 し、トレーニングをす	・手紙の形式について 理解を深め、知識を身 につける。 ・理解や知識を活用し て、実際に手紙を書く。	を通じて、自らの問題 意識の有り様を自覚す る。 ・同時に、自らのもの の見方を相対化するこ との大切さに気づく。 ・自分の意見を他に伝 えることの喜びを体験 し、同時にその責任を 理解する。
② グループに分かれ、 ① ことばによる伝達の 難しさを自覚する。	① 手紙を書いた経験 を振り返る。 ② 状況に応じた手紙 の形式やマナーにつ いて調べ、発表する。 ③ 想定された条件に 即して、手紙を書く。 ④ 書いた手紙につい て相互評価を行う。	れに対する感想をま とめる。 ② グループに分かれ て①を発表し合い、 相互に意見・感想を 述べ合う。 ③ ②をもとに、グル ープごとに最も印象 に残った投書をクラ ス全体に紹介する。 ④ 投書を書く。書き 上げる過程で適宜相 互批評を行う。 ⑤ 書き上げた投書を グループやクラスで 読み合い、相互批評 を行う。
3 : A B C D 2 : A B C D 1 : A D	3 : A B C D 2 : A B C D 1 : A D （手紙文、は がき文の提 出） 5 : A	（投書文の提 出） 4 : A B D （メモカード の提出） 5 : A B
・グループで意見交換や検討をする 際に、積極的に参加しようとしてい る。	・活動に主体的に参加し、作業を行 っている。 ・手紙とはがきの特色や書 き方について理解している。 ・目的を明確にした上で、相手に配 慮した手紙やはがきを書いている。	している。 ・日常生活を掘り起こし、そこから 問題や課題を発見している。 ・自分の考えや意見を明確にし、わ かりやすい文章で表現しようとして いる。

文学の表現物語 が生まれ変わる	ことばを見つめ る	
3	7	
さまざまな表現を通し た	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常使用していることば「」を自覚的に見直しことば、「」に対する意識を高める。</li> <li>・資料やデータの扱い方・読みとり方、アンケート調査の活用について学習し情報、「」のあり方について考える。</li> <li>・「情報」を活用してレポートを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばで正確に伝えるためにさまざまな工夫をする。</li> <li>・コミュニケーションの基本が「相手の立場への想像力」であることに気づかせる。</li> </ul>
① 翻案による文学作品を読み、表現上の	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常生活で無意識に触れている、話し方、ことば遣いを確認し、整理する。</li> <li>② クラスでことばに関するアンケート調査を行い、その結果を考察する。</li> <li>③ ②の結果と共通する既存のデータを比較し、考察する。</li> <li>④ 教科書のレポート文例を通じてレポート文の形式を学んだ上で、別の課題でレポート文を書き、相互評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道順の口頭説明を行い、意見・感想を交換する。</li> <li>③ ②をもとに、道順の説明文を作成する。書いていく過程でも、適宜相互評価を行う。</li> <li>④ 道順とは別の課題で説明文を書き、相互評価を行う。</li> </ul>
2 1 ∴ A D	5 ∴ A B 3 ∴ A B C D (レポート文の提出)	1 ∴ A B C D 2 ∴ A B C D 5 ∴ B
の表現を「ありとぎりぎりす いねいに読み味わおうと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の話し方、ことばの使い方を見つめ直すようとしている。</li> <li>・ことばに関するアンケート調査の方法や数値データの分析のしかたを理解している。</li> <li>・レポートの形式に即して書いている。</li> <li>・日本語についての見方を広げたり、関心を高めたりしている。</li> <li>・グループでの調査活動などに積極的に参加し、その中で自分に与えられた責任を果たしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人の意見を聞いた上で、発言しようとしている。</li> <li>・題材を適切に選定している。</li> <li>・情報を適切に整理している。</li> <li>・情報を、正確に伝えようとしている。</li> </ul>

<p>発表「○○って、何？」インタビュアーから発表・討論へ</p>	
<p>6</p>	
<p>・発表という表現方法を、その準備から実施、まともに至るまでを体験して身につける。 ・他者とのコミュニケーションションを通して、自らのものの見方を相対化するこの意味に気づく。</p>	<p>て、表現の豊かさを考え、味わう。 ・読書体験に基づき、物語や作品を作りかえる創作活動を行う。 ・表現活動や相互評価を通じて、自らの表現意欲を高める。</p>
<p>①クラスでテーマを決め、適切な観点を考えながら、インタビューを計画する。 ②グループに分かれ、インタビューの依頼・日時の予約・実施。 ③ インタビューの内容を検討し、内容や構成、必要な資料等</p>	<p>特色や工夫について指摘をし、考えてみる。 ② 翻案による物語を実作するための作品を選定し、どのように作りかえるか、その内容や設定について構想する。 ③ ②をもとに、物語文の下書きを書く。 ④ グループに分かれて③を読み合い、相互に意見・感想・アドバイスを伝える。 ⑤ 物語を書き上げ、相互批評を行う。また、同時に自己の活動を振り返る。</p>
<p>1 : A B C (作成資料の提出) 2 : A B C D 3 : A B C D (口頭発表のレジュメの提出) 5 : A B</p>	<p>3 : A C D (創作文の提出) 4 : D (感想カードの提出) 5 : A B</p>
<p>・テーマをめぐって、適切な観点から、インタビューをしようとしている。 ・他の発表を聞き、感想や意見を持つとともに、クラスやグループでの議論や意見を取り入れようとしている。 ・インタビューをするときに自分の聞きたいことを整理している。 ・聞き取った話とそこから考えたこ</p>	<p>している。 ・自分なりのアイデアを取り入れて物語を作りかえている。 ・話し合いに積極的に参加したり、他の人が作った物語を主体的に読んでいたりして、率直な意見交換をしている。 ・表現の豊かさについて考えたり、表現することの喜びを感じている。</p>

を作成し、口頭による発表を行う。  
④聞き手は、発表に対する評価や質問・意見・アドバイスをメモしていく。  
⑤各グループの発表をもとに、テーマについてクラス全体で討論を行う。

とを、整理して発表している。